

万博記念公園 自然ものがたり①

園内の“自然ふれあい”を紹介するページ

(公社)大阪自然環境保全協会

生きもの見わけ方ボランティア養成講座(上)

トンボ

	2015年の日程	テーマ	講師
1	6月 6日(土)	トンボ	谷 幸三
2	6月14日(日)	水生生物	谷 幸三
3	8月 9日(日)	セミ・チョウ	今井 健介
4	9月20日(日)	シダ	村上健太郎
5	10月 4日(日)	キノコ	大藪 崇司
6	11月 8日(日)	樹木	田端 敬三
7	12月 6日(日)	野鳥①	杉田 福松
8	1月31日(日)	野鳥②	杉田 福松



万博記念公園の身近な生きものや植物に親しみ、その特性などを学び、基本的な見分け方のノウハウを身につける講座です。園内の“生きもの調査”にボランティアで参加していただくこともめざしています。

園内の自然をよく知る専門家から、実際のフィールドで自然に触れながら生きものについて多くの知識が得られ、各講師の先生の個性がそれぞれ楽しかったとの感想がありました。



受講生たちの一言感想

水生生物

- ◇ トンボにはじまり、昆虫の生態の話しを色々聞かせて頂き、楽しく受講させていただきました。
- ◇ たのしく参加させていただきました。先生のお話しは面白く資料も充実して勉強になります。



セミ・チョウ



- ◇ ぬけがらだけでも色々なことがわかると知った。身近なところでも定点観測に生かせそうに思った。チョウやトンボのとり方や網の使い方も教えてもらって子供といっしょに楽しめそうです。
- ◇ セミの抜けガラを探すのは意外に難しかったです。クマゼミが多いと思っていましたがアブラゼミが多かった事に少し驚きました。



シダ



- ◇ 今まで同じものに見えていたシダが細かく種類がわかれていて講義中だけでも15種類もあったことに驚きました。一つの生物をものさしにして町中や色んな場所の自然環境がわかる見方が勉強になりました。

- ◇ 水生生物が身近な所にたくさんいて驚きました。生物が生きるために色々な工夫をしているのを知って勉強になりました。谷先生の話もおもしろく、専門的なことも分かりやすく教えて頂いてまた講座をうけたいなと思いました。
- ◇ アメリカザリガニ他、外来種がたくさんいる事におどろいた。外来種のせいで日本に昔からいた生物が減っていくのを知ってびっくりしました。水生生物の他、色々なことが学べてよかった。水を少しでもきれいにできるよう気をつけていきたい。



◆公園内では一般来園者の生物の捕獲は禁じられています